

3 人材育成活動

□生涯学習分野

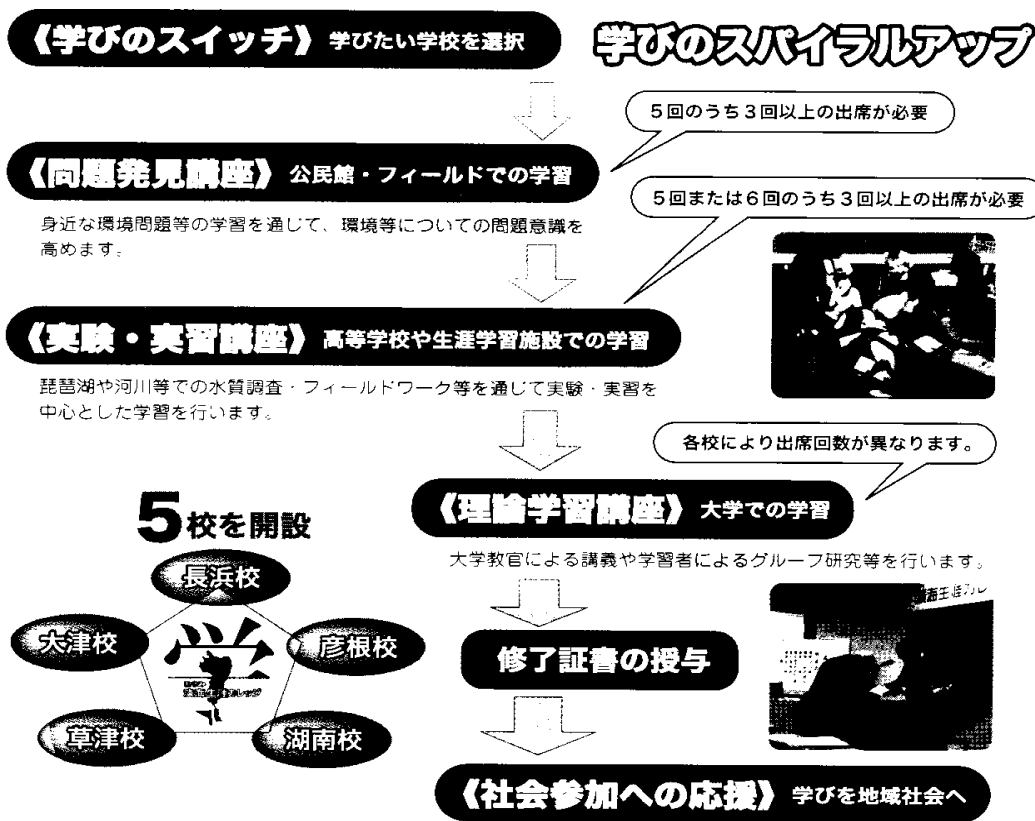
淡海生涯カレッジ

「淡海生涯カレッジ」は、滋賀大学と滋賀県の共同研究の中から生まれた学習機会である。平成8年に滋賀県大津市で開設され、今日まで、大学の知的資源を生かすと同時に、地域の生涯学習機関(公民館、高校、生涯学習センター等)とのネットワークによって、体系的で、深まりのある環境学習の機会を提供してきた。

「淡海生涯カレッジ」では、特色のある3つの講座が開設され、それぞれの講座内容を受講者がバランスよく学ぶことで学習を深めていけるようにしている。3つの講座とは、身近な環境問題を学ぶ中で、環境についての問題意識を高める、公民館での「問題発見講座」、観察や実験を通して、体験的に環境問題に迫る、高校での「実験・実習講座」、そして理論的に環境問題を深める、大学での「理論学習講座」である。

このうち、大学での「理論学習講座」では、大学教員による講義とともに、受講者が自分たちでテーマを決めて研究を行い、講座の最終回にその研究成果を発表する「グループ学習」を行っている。これには、これまでの学習成果を生かしながら、自分たちの力だけでどこまでことができるのかを確認してもらいたい、また、学習のプロセスの中でカレッジ修了後も共に活動を続けていける仲間をみつけてもらいたい、というプログラム企画者の願いが込められている。

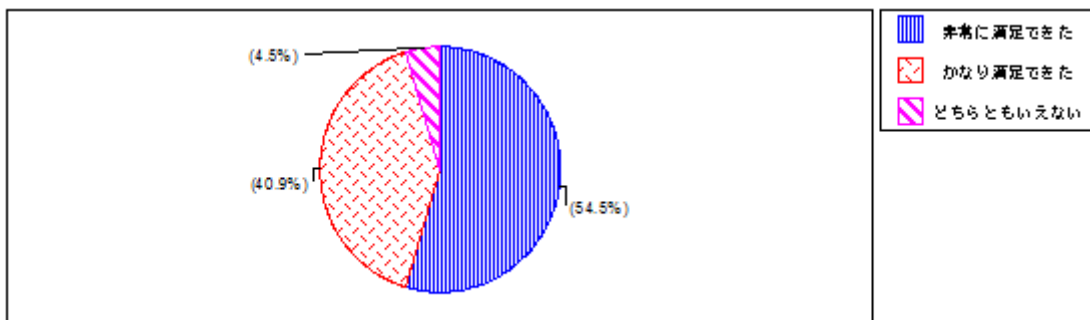
○ 淡海生涯カレッジの学習の流れ ○



現在、県下には5校の淡海生涯カレッジが開校されており、滋賀大学はそのうち、「大津校」と「草津校」に関わっている。平成24年度は、平成24年6月16日～平成25年2月2日まで7ヶ月にわたって講座が開講され、両校の58名の受講者のうち、43名がカレッジの修了証を手にした。彼らが、これからカレッジで学んだ成果を存分に生かして、地域で活躍することを期待したい。

(文責 教授 神部 純一)

【受講満足度】



【理論学習講座とグループ学習発表の様子】



【修了式の様子】